

町報

1996  
10月

No.310

# こうふ



「火災発生!!」

頼りになるのは、確かな技術とスピードです

(第3回江府町消防まつり・自衛消防隊競技会)

# 収集がはじまります

平成9年4月から本格実施

## なぜ分別するのか？

- 西部不燃物処理場が平成9年4月にリサイクルプラザとして新しくなり、投入する場所が種類ごとに分かれています。
- リサイクルできるものを事前に分け、効率を高めるためです。
- 最終処分場の不足と莫大な処理経費の問題があります。
- 地球規模の資源不足が日本だけでなく世界の問題となっています。
- 再生することによりゴミを減らし、最終処分場の延命と資源の活用をするためです。
- 「容器包装リサイクル法」の施行（平成7年国会で可決）により日本中の市町村がリサイクルに取り組むようになりました。

※中身メーカーと容器メーカーに、販売額に応じ、自治体で回収された容器包装廃棄物を引取り、リサイクルを義務づけた法律

## なぜこんなに注文が多いの？

- 「きれいなもの、同一種類のもの、大量に集める」のがリサイクルの最も大切な3つのポイントです。
- かん・びん・ペットボトルなど種類別にわけて原料として売るためです。
- びんは、透明・茶色・黒（混合）にわけて碎きます。缶は、アルミと鉄にわけてブロックにかためます。ペットボトルは、圧縮し梱包します。
- 原料として売るときに、それぞれの純度（容器の材質以外の物ができるだけないほうが良い）が高い方がよい。
- 人が手で分けます。当然、きれいで危険のない方がよい。

## 皆さんからよせられた、質問と回答

(Q→質問・A→回答)

- Q. 「資源ごみ」や「ペットボトル」の収集にだすとき、プラスチックの口がどうしてもはずれませんか。こんなびん・ペットボトルは？
- A. 可能なものは、できる限りはずしてください。どうしてもはずせないものは、そのまま、「資源ごみ」「ペットボトル」の収集にだしてください。
- Q. コップや湯呑みは？
- A. ガラスのコップや食器、陶器の湯呑みなどは、「不燃ごみ」にだしてください。
- Q. アルミはくやアルミのパックは？
- A. 残念ですが、リサイクルできません。一般家庭からでる程度のものは、「可燃ごみ」にだしてください。ただし、一度に大量にまとめてだしたり、生ごみを大量につつまこんだままださないでください。

- Q. 色々なびんやペットボトルのふたは？
- A. 金属の王冠・キャップなどは、「不燃ごみ」にプラスチックのふたは、「可燃ごみ」
- Q. 資源ごみを入れるとき、大きな缶やびんの中に小さな物を入れても良いか？
- A. 資源ごみは、工場に投入されてからアルミ缶・スチール缶・無色のびん・茶色のびん・その他（緑・黒混合）に分けられます。その際にわけやすくするためにも重ねないでください。
- Q. アルミ缶やペットボトルは、つぶして出しても良いか？
- A. 水で洗い、ふたや取っ手などを取り除いたものであれば、つぶしていただいてもよろしいです。
- 説明会をご希望される団体、グループ等ございましたら、役場環境整備課(☎75-2211)へご連絡ください。

九月に町報こうふ号外でお知らせしました、不燃ゴミの分別収集が、いよいよ十一月から試行を開始（本格実施は平成九年四月から）します。

不燃ゴミを資源として有効活用する事は、結果としてゴミの低減にもつながります。町民の皆さんのご協力をお願いします。

# 不燃物の分別

## 11月から試行開始

不燃ごみ（燃えないごみ）の出し方がこのように変わります。

（平成8年11月から試行を開始します）指定日にそれぞれ出して下さい。

### 不燃ごみ

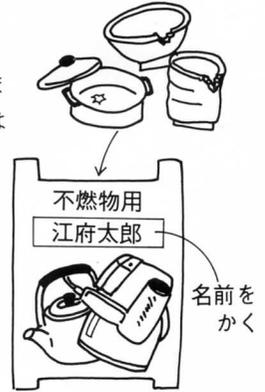
（概ね60cm四方以下  
で20kg以内）

- \* 容器類は中身を完全に空にしたもの
- \* 割れガラス・刃物等の危険物は新聞などでつつむ。

- 小型の電気製品
- 金属・せとの製品
- プラスチック製品・食器
- 資源ごみに入れられないもの
- 耐熱ガラス・化粧品のビン
- 缶・電球・蛍光灯・穴をあけたガスやスプレー缶など



- \* 指定の袋に入れるか、概ね60cm四方以下にまとめ指定のシールをはる。



### びん・缶

### 資源ごみ

- \* 中を水で洗ったもの
- \* 割れてないもの
- \* タバコの吸い殻などの入ってないもの
- \* フタやキャップ、プラスチックの取っ手は取り除く

- アルミ缶・スチール缶
- びん類（飲料用・食品用）
- ジュース缶、ビール缶、菓子類・お茶の缶
- ジュース、洋酒、ドリンク剤などの瓶

透明の袋にびん・缶をいっしょに  
入れる

透明な袋で  
あれば良い



### ペットボトル

- 飲料用・酒類用・しょうゆ用のもの

- \* フタやキャップ、プラスチックの取っ手は取り除く



このマーク  
がついて  
いるもの



ヒモでくっついても良い  
ガムテープはダメ

ペットボトルだけ

透明な袋であれば良い  
名前をかく



### 燃えない 粗大ゴミ

（60cm四方より大きく  
概ね1m×1m×2mまで）

- 大型家庭電化製品
- 家庭用生活用品
- 事務用器機
- 家庭用廃品建具等

- \* 名前をかいた指定のシールを貼る



### 再生資源物

（生きびん・リターンルびん）

販売店での引き取りか、各種団体の集団回収にご協力下さい。

一日中遊んで勉強になる

# 第三回

# 消防まつり開催



カラー放水

十月六日、第三回消防まつりが運動公園グラウンドで開催されました。

今年はおオープニングで、日野産業高等学校郷土芸能クラブの皆さんによる荒神神楽が行われ、保育園児によるダンス「ちびっこ消防隊演技」、クイズをしながら防災知識が身につく「防災ウルトラクイズ」、各部落の自衛消防隊が日頃の訓練の成果を競い合う

「自衛消防隊競技会」、見るだけで救急法が身につく、西部広域消防署の皆さんによる演劇「水戸黄門・漫遊記」など楽しい催しが盛沢山でした。

また、防災訓練として人命救助訓練、消火訓練も行われたほか救急講習コーナーもあり、参加者の皆さんに消防防災活動に対する理解を深めていただくことになりました。

## 自衛消防隊競技会

### 成績

優勝

助沢自衛消防隊

準優勝

尾上原自衛消防隊

第3位

久連自衛消防隊

## 自衛消防隊競技会参加者の紹介



優勝 助沢自衛消防隊



準優勝 尾上原自衛消防隊



第3位 久連自衛消防隊



御机自衛消防隊



池の内自衛消防隊



宮市自衛消防隊



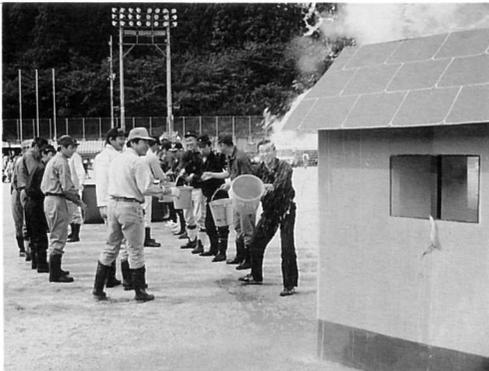
江尾区自衛消防隊



はしご車試乗コーナー



オープニングを飾った日野産業高等学校郷土芸能クラブの皆さんによる「荒神神楽」



「バケツリレーによる消火訓練も行いました」  
防災訓練



「訓練といえども真剣です」  
防災訓練



「この紋所が目に入らぬか！」  
水戸黄門・漫遊記（西部広域消防）



江府町赤十字奉仕団の皆さんによる緊急食糧試食コーナー



「いざという時、役に立ちます」  
救急講習コーナー



「答えは○でしょうか×でしょうか？」防災知識が身につく防災ウルトラクイズ



「大好評！」自衛隊カレー試食コーナー

## 決意も新たに 差別の無いまち、江府町をめざして

9月19日の江府町9月定例議会において、「差別の無い明るく住み良い江府町づくり」に関する決議が議会全員一致でなされました。

今後、部落差別を含む、あらゆる差別の撤廃に向け町民一丸となって取り組むための新たな一歩とするために決議の全文を以下に掲載します。

### 「差別の無い明るく住み良い江府町づくり」に関する決議

同和問題は、わが国の歴史的発展の過程において形成された身分階層構造に基づく差別により、今日においても、なお人類普遍の原理である自由と平等が侵され、憲法で保障された基本的人権が侵害されるといふ、最も深刻な社会問題であります。

同和問題の解決に向けては、国、県をはじめ本町でもさまざまな取り組みがなされてきましたが、今日もなお差別事象や問題発言があとを絶たず、極めて残念でなりません。

同和問題の解決に向けては、現在、国では、「地対財特法」の5か年延長を平成8年7月26日、閣議決定がなされたところであり、県では、「鳥取県人権尊重の社会づくり条例」が平成8年6月24日に制定され、8月1日施行となっているところであります。

本町においては、県下でもいち早く「江府町部落差別撤廃とあらゆる差別をなくする条例」が制定され、加えてこの条例審議会が結成されて、江府町の同和教育推進は如何にあるべきかが答申されたのであります。その答申内容に添い、その具体化に向け実践中であったその矢先、一議員が8月25日に開催された日野郡小学校PTA研究大会（同和教育部会）において問題発言をしたことについて、我々議員一同は、この発言を公人として差別解消の責任ある立場を考えない、極めて非常識で不適切な発言であったと考えており、憤りを感じるものであります。

しかし、この問題発言について、本人は深い猛省をし更に謝罪を致しており、これからの生き方として今の心情を厳しく心にきざみ差別解消に向けて同和教育推進に全力を傾注する決意を表している現在であります。

したがって、我々議員一同、この問題発言を教材とし、より一層の部落差別撤廃とあらゆる差別の解消に向けて発言者も含め全員一致協力し、「差別の無い明るく住み良い江府町づくり」に邁進することを此処に決議するものであります。

平成8年9月19日

鳥取県日野郡江府町議会



敢闘賞の貝田Cチームの皆さん

## 第5回溝口警察地区地域安全 親善ゲートボール大会開催

九月二十一日、総合運動公園グラウンドにおいて、第5回溝口警察地区地域安全親善ゲートボール大会が開催され、溝口警察署管内の三町から、三十四チーム、約二百二十人が集まり、和やかなムードの中にも日頃の練習の成果を競いました。

優勝 庄 庄チーム（溝口町）  
準優勝 吉長Aチーム（岸本町）  
第三位 溝口 チーム（溝口町）  
敢闘賞 貝田Cチーム（江府町）

# 町のわだい

## 10組の金婚者に記念品贈る

九月二十六日、結婚五十年を迎えた皆さんに福田町長から記念品が手渡されました。金婚式を迎えたのは町内で十組。  
仲の良いご夫婦に心からの祝福が送られました。

|      |      |      |      |      |      |       |       |     |      |
|------|------|------|------|------|------|-------|-------|-----|------|
| 本二   | 宮市   | 美用   | 美用   | 尾上原  | 池の内  | 武庫    | 洲河崎   | 久連  | 久連   |
| (福田) | (末次) | (河合) | (川島) | (中尾) | (南波) | (宇田川) | (佐々木) | (水) | (小西) |
| 絹正   | 愛一   | 忍保   | 千泰   | 倫雄   | サ頼   | つ川    | 光木    | 幸博  | 嘉一   |
| 江臣   | 子博   |      | 歳文   | 子郎   | チ夫   | 竹一    | 子雄    |     | きの   |

### 小学生交通安全標語コンクールに10作品入賞 (溝口地区交通対策協議会連絡会主催)

|       |     |        |           |         |       |     |     |
|-------|-----|--------|-----------|---------|-------|-----|-----|
| 低学年の部 | 優秀賞 | 〇かえりみち | はなしにむちゅうは | じこのもと   | 江尾小2年 | 奥田  | 友美  |
|       | 佳作  | 〇あわてるな | ゆっくりうんてん  | だいじないのち | 俣野小2年 | 中尾  | 健太  |
| 中学年の部 | 佳作  | 〇夜の道   | 安全たすき     | 身を守る    | 米沢小3年 | 田中  | 敏雄  |
|       | 〃   | 〇早く早く! | とあせる気持ち   | が事故のもと  | 俣野小3年 | 藤原  | 圭輔  |
|       | 〃   | 〇気をつけて | きけんがまっている | こうさてん   | 江尾小4年 | 奥田  | 恵理子 |
| 高学年の部 | 優秀賞 | 〇事故なんて | ちよつとの注意   | でゼロになる  | 江尾小6年 | 井上  | 知洋  |
|       | 佳作  | 〇飛び出しは | してもされても   | きけんです   | 明倫小5年 | 加持谷 | 敬子  |
|       | 〃   | 〇うれしいな | 事故一つない    | このくらし   | 明倫小5年 | 三輪  | 綾子  |
|       | 〃   | 〇反射材   | 付けて安心     | わが身の安全  | 俣野小5年 | 藤   | 由佳里 |
|       | 〃   | 〇ひとり   | マナーを守れば   | 事故はない   | 米沢小6年 | 高津  | 亮二  |

(応募総数六四四点、岸本溝口江府町掲載は本町関係分のみです)



関係者により除幕された記念碑(鏡ヶ成)

### 自然保護の願いは、江府町から 「自然保護憲章発祥の地」記念碑除幕式

十月十二日、鏡ヶ成において「自然保護憲章発祥の地」記念碑除幕式が行なわれました。  
自然保護憲章は、昭和四十一年八月に鏡ヶ成で開催された、第八回国立公園大会で自然保護憲章の早期制定が決議され昭和四十九年六月に制定されたもので、このたび憲章制定二十周年を期に、憲章精神のさらなる高揚と適正利用を促進し、鏡ヶ成が憲章発祥の地であることを内外に周知させる事を目的として建てられたもので、町もこの趣旨に賛同し、協力しました。



道端に捨てられたゴミを集める参加者

●参加団体  
しゅうとめ会・婦人会  
JA女性部・母子会  
睦美会・青年団  
ご協力ありがとうございました

秋の大山一斉清掃  
秋の大山一斉清掃が十月十三日に行われました。  
江府町からは約四十名が参加。鍵掛峠から御机の間に投げ捨てられていた空き缶などを拾い集めました。約二時間で可燃物二十六袋、不燃物二十袋も集まりました。

### 交通安全標語

「暗やみに 光るタスキは 命づな」

# 町民体育大会・俣野会場(9月22日開催)



「あせつたらだめ：  
わかっていてもあせります  
(鯛つりりレ)」

「タイミング合わせて  
みんなでジャンプ」



## 俣野会場名物入場式



奥部連合チーム  
「でっかい猪にビックリ」



池の内下チーム  
「アイデア最高のシンクロ」



尾上原チーム  
「国民栄誉賞の皆さんです」



池の内上チーム  
「猪の被害は深刻です」

# みんな楽しくスポーツの秋!!

先月号で、メ切りの都合により紹介できなかった町民体育大会・俣野会場と、子供の国保育園・秋の運動会…皆さんの活躍を写真で紹介します。

## 子供の国保育園・秋の運動会(9月23日開催)



「みんな元気よく入場行進!」



「私、上手でしょ」



「子供よりお母さんの方が楽しそう?」



「お父さんと体操 楽しいな」



「先生、でんぐり返りができないよう…」

# 農村整備は

## ドイツの重要施策

### 集落整備に80%の高率補助

#### キャッチフレーズは

#### 余暇を

#### 農村で過そう

ドイツと日本とは、確かに文化、生活様式など様々な違いがあるのは当然ですが、自然を愛し、自然とともに生きる姿勢は何んら変わりません。日本では、農村の過疎化、後継者不足などが深刻な問題となつていますが、ドイツではそのような問題はないのか、また、その実態について、今回はリポートしてみました。

ドイツには三〇年来、「余暇を農村で過そう」というキャッチフレーズがあるくらい、都会の人々が農家に宿泊し、農業体験、村のイベント参加

り、入賞するとその村には多くの人が訪れ、村や農家に大きな収入をもたらすという。しかし、その審査の基準は厳格で村のなかに一戸でも景観をそこねる建物などがあると落選するほどです。

つまり、村全体が一丸となつて取り組むことが要求されるわけです。さて、この農村をささえるために国をあげて集落整備事業が積極的に取り組まれています。

例えば、集落内道路や、河川整備、上下水道をはじめ、ヨーロッパの中世の趣きを残すために石畳の道路復元、電線地下埋設、農家個々の整備

などに国や州から八〇%の高率補助があります。

そして、整備後においては地域住民がこぞつて花や木を植え緑化に努め、また、大型機械などの利用管理を共同で行う点は感心しました。

これは、ひとえに農村の自然環境の維持こそ最重要課題であるとの視点のあらわれです。

#### 農村に誇りを

#### 独自のライフスタイルを

農村自体が美しく整備されていること、それ以上に農家の人々が農村に生涯誇りを持

ち、生命を守る農村への愛着と同時に、都市に対する毅然たる距離を保ち、農村独自のライフスタイルを確立しているところにあります。

このような都市と農村との姿勢を保つことにより、都市側の理解も生まれ、交流のなかからは結婚へと連がるケースも多々ある現状です。

島根大学の保母式彦教授が過疎克服へのプログラム提唱しているなかに、次の三点があります。

- ① 農山村の豊かな資源を生かした自前の発展努力。
- ② 都市との交流関係協力。
- ③ 国家財政の思い切った発展維持支援。

まさに、ドイツの農村の取り組みがそれぞれあてはまるように思います。

中世のヨーロッパの町並みがいたる所に広がるドイツの町村を素通りするだけでは理解することができなかった価値ある視察は、本町が現在進めている資源活用（奥大山の水など）や市民農園の取り組み、農林業振興にも示唆をあたえてくれた視察でした。

#### 農村の自然環境

#### 維持こそ

#### ドイツの心

興味深い取り組みに農林省、観光局の提唱による「美しい村づくりコンクール」があります。これは、郡・市・町レ

ベルから一六州の大会まであ



▲「水と緑を守り続けよう」とドイツ最大の森林を誇る旧東ドイツのアイゼナハ市長と固い握手をする福田町長（市庁舎で）

# お知らせ

## 介護講座受講者募集

### 〈初級介護講座〉 第3期

(平成8年12月～2月 10日間)

基本的な介護知識や技術が修得  
できます。

#### ◆日程

上期の期間内の所定の日

#### ◆会場

西部地域

介護実習普及センター

(米子市福祉保健  
総合センター内)

#### ◆定員

30名 (講座によっては定員  
を上回ることもあります。)

#### ◆費用

無料

#### ◆申込み受付

平成8年11月7日より

### 〈中級介護講座〉

(平成9年1月～3月 10日間)

具体的な介護知識や技術を取得  
できます。

ホームヘルパー養成研修3級課  
程の研修事業を実施、全講座終了  
者には修了証を発行します。

#### ◆会場

西部地域

介護実習普及センター

(米子市福祉保健  
総合センター内)

#### ◆定員

30名

#### ◆受講料

無料 (テキスト代8,000円は)  
実費

#### ◆申込み受付

平成8年11月1日～12月4日

(応募者多数の場合は抽選に  
より決定)

### 〈地域巡回介護講座〉 (随時)

遠隔地などでなかなか介護講座  
にこられない方を対象に、各地域  
で介護講座を開催いたします。

希望の団体・グループの方はセ  
ンターにお問い合わせください。

#### ◆問い合わせ先 (11月1日より)

西部地域介護実習普及センター  
米子市錦町1-139-3

(米子市福祉保健  
総合センター内)

☎0859-23-5470 (直通)

## 交通事故無料相談

交通事故は加害者、被害者どち  
らも悲惨なものです。

日本損害保険協会では、不幸に  
して事故にあい、困っておられる  
人のために無料で専門の相談員が  
相談に応じています。

電話でもかまいませんのでお気  
軽に相談ください。

#### ◆相談日

午前9時30分～午後4時40分  
(土・日曜日・祝日は休み)

#### ◆弁護士相談日

毎週水曜日  
午後1時～午後4時(予約制)

#### ◆相談所

鳥取市今町1-103

住友生命鳥取ビル3階

鳥取自動車保険請求

相談センター

☎0857-24-4233

## 税の無料相談と税金展開催

毎年11月11日から17日までの一  
週間は「税を知る週間」です。

この期間中の行事として米子税  
務所では下記のとおり「税の無料  
相談と税金展」を開催します。

#### ◆日時

平成8年11月11日(月)・13日(水)  
午前10時～午後4時

#### ◆会場

米子天満屋1階しんまち広場  
※気軽にお立ち寄りください。

## 高山植生保全セミナー開催

大山は登山者の増加に伴い山頂  
部の裸地化と急激な浸食によりキ  
ャラボクなどの貴重な自然植生に  
被害が出ています。

一木一石運動などの保全活動が  
続けられていますが、本来の自然  
を取り戻すまでには多くの課題が  
残されています。

人と自然の共生を考える高山植  
生保全セミナーが次のとおり開催  
されますのでお誘いあわせお出  
かけください。

#### ◆日時

平成8年11月17日(日)  
午前10時～午後4時

#### ◆会場

米子ワシントンホテル

#### ◆参加申し込み

11月5日までに役場企画商工  
観光課☎75-3222へ。



# 人の動き

9月届

## ●お誕生おめでとう

| (住所)  | (氏名)               | (性別) | (保護者) |
|-------|--------------------|------|-------|
| 本五川上  | 光 <sup>ひかる</sup>   | 男    | 浩     |
| 柿原加藤  | 毅展 <sup>たけのぶ</sup> | 男    | 愛敬    |
| 武庫日野  | 尾真代 <sup>まよめ</sup> | 女    | 泰司    |
| 下安井三輪 | 綾女                 | 女    | 哲也    |

## ●ごめい福を祈ります

| (住所)   | (氏名) | (年齢) | (世帯主) |
|--------|------|------|-------|
| 貝田佐藤   | 秋寛   | 74歳  | 本人    |
| 下蚊屋各務  | 正人   | 47歳  | 本人    |
| 本一松本   | 啓治   | 77歳  | 本人    |
| 小江尾宇田川 | 司    | 46歳  | 幸枝    |

※今月は結婚コーナーはありませんでした。



## 編集後記

●ちょっと前のことですが、動物園のメスのゴリラが柵を越えて転落し大ケガをした人間の子供を助けたという話が新聞に載っていました。

頭から血を流し動けない子供、好奇心から近づこうとする他のゴリラから彼女は子供を守り、だき抱えて無事救出したとのこと。

実はこの彼女、自分の子供を事件の前に亡くしており、人間の子供に自分の子供の姿をだぶらせたのかもしれないとのことでした。

●一つの幼い命を彼女がゴリラが守ってくれました。

●私たち人間も、可愛がっていたペットたちの命を守るくらいの責任感を持っていたいものです。

世帯数 1,241世帯(±0) 人口 4,437人(+2) 男 2,103人(-1) 女 2,334人(+3) ( )は前月比 9月末(11)

江府消防署から一言

# 秋の全国火災予防運動

平成8年11月9日～15日

## 全国統一標語

# 「便利さに慣れて忘れる火のこわさ」

これからの季節、暖房器具や火を使う機会が増え、火災が発生しやすい時期となります。

近年の建物火災による死者のうち住宅火災による死者が9割を占め、そのうち高齢者(65歳以上)が半数近くを占めているのが現状です。

このため江府消防署では火災発生防止及び火災による高齢者の犠牲を無くすために、各種活動を推進します。

皆さんも、火災のない町づくりを目指して、今一度、火の元を点検して火災予防に御協力ください。

# 動物をすてないで!!

町中であちこちにみられる捨て猫は、民家、公園、ごみ焼却場などいたる所を荒らし、生活環境を悪化させます。

日頃より、捨て犬、捨て猫の連絡をいただきますが保護が困難な場合が多く、対策に頭を悩ませています。

そこで、次の点を中心に皆さんのご協力をお願いします。

### ◎犬、猫を捨てるのはやめて!

捨てられた犬は凶暴な野犬となり、人や動物をおそいます。

### ◎不幸な犬や猫をふやさないで!

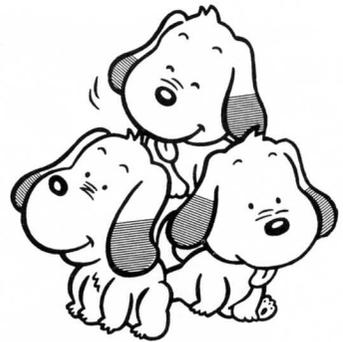
飼うことができないような子犬子猫が生まれることのないように避妊手術を受けましょう。

### ◎道路や公園をよごさないで!

犬の散歩の時は、糞などで道路や公園などを汚さないように、ビニール袋を持って行きましょう。

### ◎放し飼いは絶対にやめて!

飼い犬は、飼い主の目の届かないところで他人に迷惑をかけていることもあります。



どうしても飼えない犬、猫は、下記の日程で保健所で引き取りますので、ご相談ください。

## 引取日

- 11月25日(月)
- 12月25日(水)
- 1月27日(月)
- 2月25日(火)
- 3月25日(火)

## ●お問い合わせ先

根雨保健所 ☎72-0041

役場福祉保健課 ☎75-3223

発行・江府町役場

〒689-144 鳥取県日野郡江府町大字江尾475  
0859(75)2211 FAX0859(75)2389

編集・総務課

印刷・富士印刷

# 元気で～す ヤング 29

皆生 弓ヶ浜荘勤務 藤原圭子 さん(24歳)

## \*仕事はどうか？

勤めはじめて6年になります。応接担当ですが、いろいろなお客様に出会うことができるし、何より職場の明るく楽しい雰囲気が大好きです。

## \*休日はどんなことをしていますか？

友達の家で、おしゃべりをしてすごしています。それから、ゴルフに興味があるので始めようかなと思っています。でも、その前にクラブを買わなきゃいけないですね。

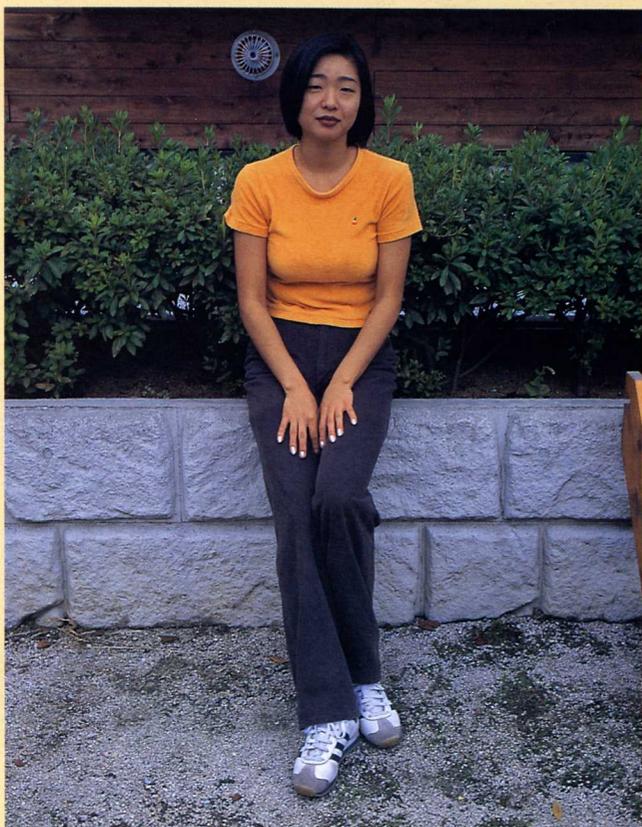
## \*性格の自己診断をして下さい。

見た目と、正反対だと思っていたら、だいたい当たっていると思います。

## \*理想の男性は？

頭が良くて、間違っていることは、間違いだとはっきり言える人。

でもきっと、好きになった人がタイプになるんだろうな。



「皆生 弓ヶ浜荘をぜひご利用ください」と仕事熱心な藤原さん



かわいい踊りが大好評だった「ちびっこ消防隊演技」  
(第3回江府町消防まつり)